

ありがとう

清音小学校だより



No.1
校長室より
令和7年4月8日

進級おめでとうございます！

正門の桜や色とりどりの花が、進級した子ども達をやさしく迎えてくれました。10日に入学する新入生40名を加え、全校347名で令和7年度の新学期がスタートしました。

子どもたちの夢の実現に向けて教職員が一丸となり、**認めほめることを大切に**、家庭や地域の皆様とともに全力で頑張っていきたいと思えます。学校教育の推進につきまして、今年度もどうかご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。



夢いっぱい 笑顔とありがとうあふれる清音小学校に

<学校教育目標>

夢や目標に向かって 主体的に取り組む
自分も相手も大切にできる児童を育成する

<目指す子ども>

- ① 夢や目標に向かって努力を続ける子（やり抜く子）
- ② 自主性・主体性のある子（考える子）
- ③ 自分も相手も大切にできる、認め合える子（思いやりのある子）

「子どもは教師の鏡」
ですので、教師も夢に
向かって
「Let's try!」します！

<始業式講話の一部：「ウサギとカメ」の話から>



始業式 やる気の姿勢！

ウサギとカメの勝ち負けを決めたものは何でしょう。カメさんのことしか見ていなかったウサギさんに比べ、カメさんは、ウサギさんが走っているときも休んでいるときも関係なく、ゴール目指して走り続けました。つまり、「目指すゴールをもっているかどうか」のちがいののです。「ゴールをもち、努力を続けることがとても大切だ」と教えてくれていますね。このゴールが「夢」です。将来何になりたいかも含めて、「夢」とはいつかは実現したい「目標・めあて」のことです。こんな自分になりたい・こんなことができるようになりたいというものです。どんな夢にしたか教えてください。（中略）

校長先生は「レッツトライ!」という言葉が好きです。「レッツトライ」とは、「やってみよう!挑戦しよう!」という意味です。今の張り切った気持ちを忘れず1年間頑張ります。

合言葉は「Let's try! 清音!」

<学校だより「ありがとう」に寄せて>

総社中央小学校より赴任して参りました校長の藤本千登世（ふじもとちとせ）です。自然豊かな清音、そして、地域に愛され伝統のある清音小学校に赴任でき、大変うれしく思っています。子どもたちのよりよい成長のために精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私は子どもたちに「感謝」の気持ちと「努力」の大切さを言い続けてきました。「ありがとう」と言える子は、人に関心が向けられる思いやりのある子です。人を褒めたり「ありがとう」を言ったりすると、自分のことも好きになってくるそうです。

そこで、「ありがとう」の言葉があふれる学校・家庭・地域になるといいなという思いから、このタイトルにしました。不定期的ではありますが、子ども達の姿やお知らせを中心に発行させていただきます。ご家庭や地域の架け橋となれば幸いです。